

## 第2次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況（令和2年度）

### 1 取組状況について

全20項目の事業について、令和2年度の取組実績（見込）をもとに、各事業における成果指標の目標値（令和2年度）に対する進捗状況の評価した。

### 2 「成果指標」の進捗評価結果（概要）

当年度は共生ビジョンの最終年度であることから仕上げに取り組み、目標値を達成することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等を受け、多くの事業で中止、または縮小等を余儀なくされた。このため一部の政策分野では目標値に達しなかった。

政策分野	取組 事業数	進捗評価		
		A：順調	B：概ね順調	C：要改善
1 生活機能の強化に係る政策分野	11	2	4	5
医療	1			1
福祉	1			1
教育	1		1	
産業振興	6	2	2	2
環境衛生	1		1	
その他	1			1
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	5	3	1	1
道路等の交通インフラの整備	1	1		
地域内外の住民との交流・移住促進	3	2		1
その他	1		1	
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	4	0	1	3
宣言中心市等における人材の育成	1			1
宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	1			1
その他	2		1	1
合計	20	5 (25%)	6 (30%)	9 (45%)

※（％）は、全体のうち、A、B、Cと評価された事業の割合

### 3 連携する具体的な取組事業の実績について

#### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

##### ■ 医療

##### ① 地域医療の連携（1市2町）

<b>事業名</b>	徳島市民病院との連携強化事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・勝浦町・上勝町				
<b>取組内容</b>	徳島市民病院を核とした圏域内の自治体病院との医療連携の構築を図るとともに、地域医療向上のため、地域の医療従事者に対する教育と研修に努める。				
<b>成果指標</b>	連携施設から徳島市民病院への紹介患者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	12人	目標値(令和2年度)	15人	
	実績(年度)	H28 3人	H29 3人	H30 3人	R1 7人
<b>進捗状況</b>	連携施設において他病院への紹介が必要となった患者の中で、病状その他の理由により徳島市民病院への紹介が少なかったことが原因と思われる。今後とも徳島市民病院の強みをアピールし、紹介患者の増加を目指す。(R2実績は12月末現在)なお、例年実施していた合同研修会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となる見込み。				進捗評価  C
<b>今後の方向性</b>	連携施設に対し、急性期病院としての徳島市民病院の取組をさらにアピールしていく。				
<b>【令和2年度の実績（見込）】</b> ○紹介患者に対する医療の提供 ・徳島市民病院において連携施設から紹介を受けた患者を治療した。 [患者数] 5人  ○医療従事者への研修は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。					

■ 福祉

② 子育て環境の充実（2市8町1村）

<b>事業名</b>	病児保育事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
<b>取組内容</b>	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、連携市町村が実施する病児保育事業について、病児・病後児（概ね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）の広域利用を可能にする。				
<b>成果指標</b>	病児保育利用延べ人数（年間）				
	当初値(平成27年度)	5,933人	目標値(令和2年度)	9,500人	
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
7,283人		8,475人	7,586人	7,798人	3,500人
<b>進捗状況</b>	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用者が大幅に減少する見込みである。				進捗評価
					C
<b>今後の方向性</b>	新型コロナウイルス感染症の動向を把握し、適切な対策を取りつつ利用者数の回復を図っていく。				
<p><b>【令和2年度の実績（見込）】</b></p> <p>○病児保育事業の広域利用を、徳島市、小松島市、勝浦町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町の11市町村で実施した。</p> <p>◎広域利用可能施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじおか小児クリニック（徳島市）</li> <li>・愛育小児科（徳島市）</li> <li>・ひなたクリニック（徳島市）</li> <li>・徳島赤十字乳児院（小松島市）</li> <li>・北島こどもクリニック（北島町）</li> <li>・田山チャイルドクリニック（徳島市）</li> <li>・えもとこどもクリニック（徳島市）</li> <li>・末広ひなたクリニック（徳島市）</li> <li>・伊勢内科小児科（石井町）</li> <li>・富本小児科内科（藍住町）</li> </ul> <p style="text-align: right;">（順不同）</p> <p>○広報用リーフレットを2万部作成し、市立・私立保育所及び委託医療機関等で配布したほか、各市町村において転入者にも配布した。</p> <p>○広報紙や各市町村ホームページ等の広報媒体を活用し、引き続き広域化を周知した。</p> <p>○勝浦町内の2保育園（民間）にそれぞれ看護師1名を配置し、保育中に体調不良となった児童への緊急対応等を行うことで、安心して子育てができる環境を整備し、保護者の子育てと就労の両立を支援した。（勝浦町）</p>					

■ 教育

③ 公共施設の広域利用（1市2町）

<b>事業名</b>	圏域内図書館相互利用事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・石井町・北島町				
<b>取組内容</b>	連携市町村の個人利用に限定した「利用者カード」を発行し、連携市町村立図書館の相互利用を実施する。				
<b>成果指標</b>	相互利用登録者数（累計）				
	当初値(平成27年度)	2,073人	目標値(令和2年度)		3,400人
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
2,357人		2,594人	2,842人	3,083人	3,240人
<b>進捗状況</b>	新型コロナウイルス感染症の影響で目標値には達しなかったものの、順調に実績を残すことができた。				進捗評価 B
<b>今後の方向性</b>	取組を着実に続けていくことにより、安定した実績を残していく。				
<b>【令和2年度の実績（見込）】</b>					
○徳島市立図書館及び北島町立図書館の相互利用を実施した。					
○図書館相互利用状況・居住地別新規登録者数（11月末現在）					
	新規登録者 (人)	居住地別			
		徳島市民	北島町民	石井町民	
徳島市立図書館	49	—	30	19	
北島町立図書館	56	52	—	4	
合計	105	52	30	23	

■ 産業振興

④ 圏域内の観光資源を生かした観光開発、観光誘致（全市町村）

<b>事業名</b>	観光開発・観光誘致事業				
<b>連携市町村</b>	全市町村				
<b>取組内容</b>	圏域市町村が有する自然や歴史・文化など、さまざまな観光資源を発掘して魅力向上を図ることで圏域での観光エリアを形成し、宿泊、地元食材を生かしたグルメなどの体験観光による長期滞在型観光を実施するとともに、観光資源やイベント等の情報発信・PRを一体的に行い、関連産業の拡大や観光消費の活性化を図り、圏域内外での交流人口を拡大する。				
<b>成果指標</b>	連携市町村観光客入り込み数（年間）				
	当初値(平成27年度)	6,833千人	目標値(令和2年度)		7,000千人
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
	6,666千人	6,443千人	6,079千人	5,493千人	2,800千人
<b>進捗状況</b>	セールス事業や県内外のイベントでの観光PR事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、計画どおりの実施は難しかったが、関係市町村が連携を図り市町村間の交流人口の拡大及び観光客の誘客に向けた取組みを実施した。しかしながら、新型コロナウイルスの影響は大きく、連携市町村観光客入り込み数は、目標値を大幅に下回った。				進捗評価  C
<b>今後の方向性</b>	コロナ禍においても認知度向上に向けた情報発信を強化するとともに、観光ガイドの人材育成など、徳島東部地域DMOを中心とした広域的な観光地域づくりを推進し、観光消費額の増加及び観光客満足度の向上を図る。				
<p><b>【令和2年度の実績（見込）】</b></p> <p>○徳島東部地域DMOを中心とした観光地域づくりの推進</p> <p>◇マーケティングリサーチ事業：観光アンケートの実施</p> <p>◇情報発信&amp;プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等での情報発信及び分析</li> <li>・WEBプロモーション</li> <li>・近隣県向け国内旅行商品造成支援</li> </ul> <p>◇セールス事業</p> <p>7月6日：四国運輸局実施事業セールス活動（高松）</p> <p>7月7～9日：誘客のための営業活動（広島・岡山・兵庫・大阪・京都）</p> <p>8月27日、11月10日：四国デスティネーションキャンペーンセールス活動（高松）</p> <p>◇観光地域づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光コーディネーター養成講座等による観光人材育成</li> </ul>					
（次のページにつづく）					

## 【令和2年度の取組実績（見込）】（つづき）

- ・「イーストとくしま誘客ラボ」開催

第1回：6月29日

第2回：8月28日

第3回：12月25日

- ・ワーキンググループによるテーマ別事業プラン提案
- ・マイクロツーリズムの旅行造成支援
- ・新たな観光コンテンツの造成支援

### ◇特産品PR・販売促進事業

- ・WEBサイト構築
- ・体験型観光（フード&クラフトツーリズム）のコンテンツ造成及び販売

### ○広域観光案内ステーション事業（連携市町村：全市町村）

- ・徳島駅前の拠点施設において、連携市町村の観光案内、宿泊案内等を行うとともに積極的な情報発信を行った。
- ・JR南小松島駅舎内観光案内所を設け、連携市町村のパンフレットやイベント情報チラシを設置し、観光情報を発信した。また、国内外の旅行客の利便性向上のため、当該観光案内所に無料Wi-Fiを設置し利用方法などの周知を行った。（小松島市）

### ○とくしま動物園リニューアル事業

- ・圏域の観光資源の一つである動物園の魅力向上のため、周回路新設などのサバンナエリア改修などのリニューアル事業に引き続き取り組んだ。
- ・圏域内市町村の新成人に「徳島東部地域定住自立圏無料招待券」と動物園パンフレットを配布（約4,300枚）し、来園を促した。
- ・動物園センター内に圏域内市町村の観光パンフレットを設置し、来園者に配布した。
- ・圏域内市町村のにぎわい創出のためのイベント等を実施し、PRすることで、圏域の魅力向上を図った。

### ○連携市町村が実施した主な取組

- ・「いっきゅうと彩の里」の魅力発信（上勝町）

モンベル・フレンドエリア登録を継続し、全国80万人以上のモンベル会員に情報を提供した。また、上勝町観光情報発信ツール「まるかみ」の運営、ゼロ・ウェイストの情報発信ポータルサイトのコンテンツを充実、さらに海外向けに英語翻訳を実装するなどにより、国内外に向けた情報発信を行った。

- ・鮎喰川のPR・道の駅の運営（神山町）

町内を流れる清流・鮎喰川で鮎の放流を行ったほか、道の駅で来訪者に最新の地域情報を発信するとともに、旬の山の幸を提供した。また、季節に応じた小さなイベント等を数多く企画し、神山町のランドマークである神山温泉との包括的な観光振興を図った。

（次のページにつづく）

### 【令和2年度の取組実績（見込）】（つづき）

- 北島チューリップ公園の運営・チューリップフェアの開催（北島町）  
北島町を代表する春のメインイベント「チューリップフェア」を北島チューリップ公園で開催し、連携市町村の観光地との連携による観光客の誘致を図った。（令和2年4月に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため規模を縮小して開催）
- バラまつりの開催（藍住町）  
春（5月中旬）と秋（11月上旬）の2回開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。次年度の開催に向け、環境整備等（設備の補修等）を行った。
- 勝瑞城館跡の整備（藍住町）  
国史跡「勝瑞城館跡」を地域の歴史文化が体感できる場として、また藍住町のシンボル空間としてや周辺文化財や観光資源などを結ぶ拠点として整備を実施した。
- 新たな特産品の開発・販売及び販路の拡充（上板町）  
「上板町特産品検討会」において新商品の開発に取り組んだほか、「柿チップ」のパッケージの変更を行い、販売促進を図った。また、コロナ禍でイベントの中止が相次いだため物販によるPRは行えなかったが、徳島自動車道上板SAや徳島とくとくターミナルなど県外客が訪れる場所で販売を行い、認知度向上に努めた。

⑤ 地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進（全市町村）

事業名	特産品ブランド化・地産地消推進事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	農林水産物加工品等の圏域外に向けた販売やPRを推進するとともに、「とくしまIPPIN店」認定店の圏域内拡大、圏域内の関係団体との交流などについて、圏域全体で連携して取り組む。				
成果指標	とくしまIPPIN店認定数（累計）				
	当初値(平成27年度)	202店	目標値(令和2年度)	215店	
	実績(年度)	H28 204店	H29 209店	H30 211店	R1 211店
進捗状況	昨年からIPPIN店GUIDEの紙版をやめ、市ホームページだけの掲載となったが、アクセス数の少なさを理由とした取りやめやコロナ禍により事業に取り組む業者が減少したことが考えられる。				進捗評価 B
今後の方向性	「とくしまIPPIN店」認定の募集・拡大について継続して取り組む。各種広報媒体によるPR活動を積極的に行い、地産地消の推進を図るとともに認定店舗のメリット措置の拡大にも取り組む。				

【令和2年度の実績（見込）】

○農産物魅力発信事業

- ・圏域の特産品（農産物、水産物、食品加工品、木工品等）を紹介するWEBサイトを構築するなど、インターネットを活用した特産品の情報発信に努めたほか、とくしまマルシェやあいさい広場、徳島・香川トモニ市場（東京都有楽町）など、県内外のイベントにおいてPR及び販売活動を行った。

○地産地消推進事業

- ・連携市町村において「とくしまIPPIN店」認定の募集・拡大を継続するとともに、各種広報媒体によるPR活動を積極的に行うことで、地産地消の推進を図った。
- ・「とくしまIPPIN店」において、地元産食材を使用した料理・加工品等を消費者に直接味わってもらうことで、消費拡大につなげた。

○連携市町村が実施した主な取組

圏域の各市町村が農水産物のブランド力向上のための取組を行ったほか、販売促進のための取組を実施し、圏域内での地産地消を推進した。

- ・「阿波かつら」及び「勝浦熟成みかん」の認知度向上

関西方面を中心に広報活動を実施。出荷時期に合わせ、長距離運送トラックにPR用ラッピングを施工、JR主要駅に駅ナカ広告を出展、駅周辺の量販店において「勝浦熟成みかん」の販売ブースを展開した。（勝浦町）

- ・産地直売市の開催

正法寺川クラフト&マーケットにおいて産地直売市を開催（12月20日）し、旬の野菜の対面販売を行った（来場者約3000人）。圏域内からの来場者への対面販売により消費者ニーズの把握、町産野菜をPRし、地産地消を推進した。（藍住町）



⑥ 地域資源や企業等の技術を活用した産業の育成（2市5町）

事業名	コミュニティビジネス起業支援事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町				
取組内容	地域産業の活性化を図るため、コミュニティビジネスの普及啓発、コミュニティビジネスに対する起業支援や経営支援等の検討、圏域内連携による起業情報提供（ホームページ等）を行う。				
成果指標	コミュニティビジネスセミナー参加者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	68人	目標値(令和2年度)		80人
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
	69人	57人	76人	52人	29人
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数が大幅に減少したため、目標値の達成は難しかった。				進捗評価 C
今後の方向性	連携市町村と、十分な感染防止対策を講じたうえでセミナーを開催し、コミュニティビジネスで起業・創業する人の知識取得や人的交流などの支援を行っていきたい。				

【令和2年度の実績】

○地域の課題をビジネスの手法で解決するコミュニティビジネスに関心のある方を対象に、創業セミナーを開催（連続4回）した。また、セミナー時に、起業に関する相談等創業支援事業者間の連携体制を周知した。なお、開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として定員を30名から10名に縮小した。

【セミナーの内容】

- 第1回 10月7日：思いの種を見つけよう！
- 第2回 10月14日：思いの種をまこう！
- 第3回 10月21日：思いの種を芽吹かせよう！
- 第4回 10月28日：思いに花を咲かせよう！

⑦ 圏域内への企業誘致の推進（2市4町）

<b>事業名</b>	企業誘致活動推進事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・板野町				
<b>取組内容</b>	効果的な企業誘致活動ができるよう、徳島県や地元企業とのネットワークを新たに構築し、活用するとともに、新たに立地を求める企業が情報収集し易い環境整備を図るため、企業目線で連携市町のホームページを整備し、利便性・満足度の向上を図る。				
<b>成果指標</b>	誘致した企業数（累計）				
	当初値(平成27年度)	26社	目標値(令和2年度)	56社	
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
30社		33社	46社	55社	58社
<b>進捗状況</b>	工場については、産業団地の完売等による用地不足のため、新規に誘致（建設）することが難しくなっている。このことから、貸しオフィス等を活用した情報通信関連事業等の誘致に努める。企業は積極的な採用を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人材の確保に苦慮している。				進捗評価  A
<b>今後の方向性</b>	より一層の企業誘致制度の周知を図り、誘致企業の増加に努める。				
<p><b>【令和2年度の実績】</b></p> <p>○各自治体の企業誘致ホームページの相互リンク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町の企業誘致ホームページを相互リンクすることで、立地候補地の情報収集を行う企業に対し、各市町単独だけではなく圏域としてもアピールを行い、より効果的な企業誘致活動につなげた。</li> </ul>					

⑧ 中心市街地の都市機能の充実（全市町村）

事業名	中心市街地都市機能整備事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	中心市街地のにぎわいや回遊性等を高めるため、徳島市の成長戦略の柱である「地域産業の拡大」「都市中心部の魅力の向上」「定住人口の維持拡大」に関連するさまざまな事業を実施し、観光・産業の振興を主とした都市機能の強化を図ることで、人々がいつも訪れ、居住者が増え、新たな雇用を生み出していく中心市街地づくりを推進する。				
成果指標	徳島ひょうたん島水都祭来場者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	3万人	目標値(令和2年度)		5万人
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
	4万人	1万5千人	4万人	2万8千人	中止
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止となったため定量的評価はできなくなった。しかし、各事業については概ね順調に進捗している。				進捗評価 B
今後の方向性	水辺空間を生かしたコンテンツをさらに充実させることで、「水都・徳島」のイメージアップを図り、市民の愛着や誇りの向上と県外からの注目度を高める。				

【令和2年度の実績（見込）】

- 鉄道高架事業（計画内容の深度化としての駅前広場等の規模や施設配置の検討）
  - ・計画内容の深度化は、新ホール及びアミコビルへの青少年センターの機能移転等の問題から今年度は見送ることとなった。
- LED 景観整備事業
  - ・新町川に架かる橋梁（富田橋）に LED 景観整備作品を整備するため、LED 作品の設計を行った。（令和3年1月に取付工事に着手予定）
- ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業
  - ・両国と徳島ベイエリア（万代・南末広・マリンピア沖洲）の新たな運航ルートの試験運転を1日限定（令和2年10月25日）で実施した。
- 新ホール整備事業
  - ・非常に厳しい市の財政状況など、課題が山積する中、一日も早く新ホール整備を進めるため、大胆な発想転換を行い、2025年度の開館を目標に、県市協調でこれまでの計画を上回る県都にふさわしい新ホール整備を推進することとなった。

⑨ 鳥獣害対策の推進（2市6町1村）

事業名	鳥獣害対策推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内の市町村、地区猟友会、農協など関係団体での情報共有を図るとともに、圏域内市町村が連携して広域的に鳥獣害対策を推進する。				
成果指標	鳥獣侵入防止柵の設置延長（H28～R2 累計）				
	当初値(平成27年度)	—		目標値(令和2年度)	30,000m
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
18,617m		20,617m	24,847m	29,004m	34,754m
進捗状況	侵入防止柵の設置は、概ね順調に取り組めており、今年度で目標の設置延長の達する見込みである。				進捗評価
					A
今後の方向性	引き続き、侵入防止柵の設置について、効率的な設置に向けた情報収集や、集落での説明会等を開催し、地域で一体となった鳥獣被害対策を推進していく。				
<p><b>【令和2年度の実績（見込）】</b></p> <p>○圏域市町村との情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年11月に東部地域鳥獣被害対策連絡協議会（県が開催）において、近隣市町村との事例研究を行い、被害対策の現状についての情報交換を行った。</li> <li>ニホンザルSKT群関係市町村である佐那河内村、神山町との情報交換を行い、県が実施するSKT群モニタリングを活用した捕獲活動を行った。</li> </ul>					

■ 環境衛生

⑩ 公共施設の広域利用（2市2町1村）

<b>事業名</b>	火葬場整備・利用促進事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村				
<b>取組内容</b>	圏域内（小松島市）において、火葬場を整備する。 運営に当たっては、広域利用の促進及びその周知を行い、住民の快適で衛生的な生活環境の確保を図る。				
<b>成果指標</b>	連携市町村住民利用件数（年間）				
	当初値(平成27年度)	(供用前)	目標値(令和2年度)		700件
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
(供用前)		514件	645件	666件	670件
<b>進捗状況</b>	火葬場施設の備品等を設置したことにより、利用者の利便性が向上したほか、圏域住民の利用も増えており、概ね順調に取り組んでいる。				進捗評価
					B
<b>今後の方向性</b>	施設の適正な管理運営に努めるとともに、引き続き広報媒体等により周知を行い、圏域住民の衛生的な生活環境の確保を図っていく。				
<b>【令和2年度の実績（見込）】</b>					
○火葬場整備・利用促進事業					
・施設の適正な管理運営に努めるとともに、広域利用について引き続き広報媒体等により周知を行い、圏域住民の衛生的な生活環境の確保を図った。					

■ その他

⑪ 環境保全活動の推進（1市8町）

<b>事業名</b>	地球温暖化対策推進事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・勝浦町・上勝町・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
<b>取組内容</b>	圏域内市町村が連携して地球温暖化対策に取り組むことにより、圏域内の住民、事業者、行政が行う温暖化防止活動の取組拡大を図る。				
<b>成果指標</b>	こどもエコチャレンジノート配布部数（年間）				
	当初値(平成27年度)	461部	目標値(令和2年度)	1,000部	
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
300部		530部	620部	580部	332部
<b>進捗状況</b>	新型コロナウイルス感染症の拡大により、集会、授業等での配布機会が減ったため、目標値を達成できなかった。				進捗評価
					C
<b>今後の方向性</b>	一人でも多くの住民に環境負荷を減らす意識を持ってもらえるよう、取組内容を見直しながら、事業を推進する。				
<p><b>【令和2年度の実績（見込）】</b></p> <p>○ノーマイカーデー、ライトダウンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町において、職員に対してマイカー通勤を控えるよう呼びかけるとともに、ノー残業デーの一斉消灯や、不要な照明の消灯に努めた。</li> </ul> <p>[実施自治体] 徳島市、勝浦町、上勝町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町</p> <p>○環境学習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「こどもエコチャレンジノート」を活用し、各市町の小学校等において環境学習を実施した。</li> </ul> <p>[実施自治体] 徳島市、松茂町</p> <p>○エコアクション21の認証取得支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エコアクション21の説明会や広報を実施し、普及促進に努めた。</li> </ul> <p>[実施自治体] 徳島市、勝浦町、上勝町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町</p>					

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

■ 道路等の交通インフラの整備

⑫ 圏域内外を結ぶ道路網の整備促進等の連携（全市町村）

事業名	圏域道路網整備促進等事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域市町村が連携して、圏域内外を結ぶ主要幹線道路等の国・県への共同要望や市町村界に係る市町村道路改良の情報交換を実施する。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(平成27年度)	1回	目標値(令和2年度)		1回
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
1回		1回	1回	1回	1回
進捗状況	計画していた情報交換を実施し、成果指標の目標を達成できている。				進捗評価
					A
今後の方向性	引き続き情報交換等を実施し、各市町村の連携を図る。				
<p><b>【令和2年度の実績（見込）】</b></p> <p>○道路整備促進のための要望活動（四国国道協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内外を結ぶ主要幹線道路の早期整備促進のため、各市町村が連携して要望活動を行った。（11月に中央要望として、国交省へ要望活動を実施）</li> </ul> <p>○市町村界に係る道路整備推進のための情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者部会での情報交換を実施。（随時）</li> </ul>					

■ 地域内外の住民との交流・移住促進

⑬ 文化・スポーツ交流の推進（2市5町）

<b>事業名</b>	ニュースポーツ用品の相互利用事業					
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町					
<b>取組内容</b>	圏域内でのニュースポーツの普及・活動支援のため、圏域内の市町でニュースポーツ用品の相互利用を図る。					
<b>成果指標</b>	相互利用回数（年間）					
	当初値(平成27年度)	(未実施)	目標値(令和2年度)	5回		
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
		(未実施)	2回	2回	2回	0回
	参加者数（年間）					
	当初値(平成27年度)	(未実施)	目標値(令和2年度)	200人		
実績(年度)	H28	H29	H30	R1	R2(見込)	
	(未実施)	80人	80人	80人	0人	
<b>進捗状況</b>	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の開催が中止となったため。				進捗評価	
					C	
<b>今後の方向性</b>	連携自治体とニュースポーツの普及について方向性を確認し、事業を実施する。					
<p><b>【令和2年度の取組実績（見込）】</b></p> <p>○ニュースポーツ用具・備品の相互利用事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の開催が中止となったため実績なし。</p>						



⑭ 就農支援体制の連携強化（2市7町1村）

<b>事業名</b>	就農支援体制連携強化事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・藍住町・板野町・上板町				
<b>取組内容</b>	圏域内外の就農希望者や意欲ある農業者に対し、農地活用情報・耕作放棄地をデータ化し、情報発信するとともに、耕作放棄地再生利用対策の取組状況の周知や新規就農希望者に対して農業体験事業を共同実施する。				
<b>成果指標</b>	経営力向上支援事業参加者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	51人	目標値(令和2年度)	50人	
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
50人		33人	105人	86人	60人
<b>進捗状況</b>	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加者が減少したが、目標値は達成しており、順調に取り組んでいる。				進捗評価 A
<b>今後の方向性</b>	今後も県の講習会等を活用するとともに、若手農業者の自主的活動を支援する。				
<b>【令和2年度の実績（見込）】</b>					
<p>○新規就農者経営力向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定年退職者等を含む新規就農者の育成のため、徳島県が開催する講習会を活用し、栽培技術の向上や経営安定化を図り、地域農業の担い手として定着できるよう努めた。</li> <li>・若手農業者には、青年農業者や関係機関と連携し、生産・経営等の技術習得のための人材ネットワークの拡大等を支援した。</li> </ul> <p>○連携市町村が実施した主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンドライフ・チャレンジ農業支援事業（上板町） セカンドライフとして農業にチャレンジする方の研修費用を助成し、新たに就農する強い意志のある方を支援した。</li> </ul>					

⑮ 移住・長期滞在の推進（2市3町1村）

事業名	移住・長期滞在推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・神山町				
取組内容	中心市が持つ都市機能の魅力と、近隣市町村が持つ環境や地域コミュニティなどの農山地の魅力を活用した情報発信方法の研究を行い、徳島県、とくしまふるさと回帰推進協議会及び観光関係団体等と連携して、移住及び長期滞在地としての魅力を都市圏に向け情報発信する。				
成果指標	移住者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	54人	目標値(令和2年度)		164人
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
	127人	131人	281人	346人	124人
進捗状況	移住促進については、県等の関係機関と連携して取り組んでおり、移住者数も順調に取り組んでいる。（令和2年度の目標値には達しなかったが、累計では順調に達成できている。）				進捗評価 A
今後の方向性	移住希望者の知りたい居住・しごと等の情報を提供することで、移住を促進し、定住人口の増加を図る。				

【令和2年度の実績（見込）】

○関係団体との連携

- ・県及びふるさと回帰推進協議会等との連携により、情報発信を行った。

○移住支援金支給事業

- ・連携市町村において、東京圏からのU・Jターン促進及び地方の担い手不足対策を目的に、各市町村への移住者に対して、移住に要する費用を支給する移住支援金支給事業を開始した。

○連携市町村による移住・長期滞在推進事業

・徳島市

- ◇令和元年度に開設した「徳島市移住交流支援センター」にて移住相談に応じるとともに、移住希望者向けパンフレットの配布や移住促進サイト「ええとこじょ！とくしま」などを通して、情報発信を行った。

・神山町

- ◇「神山町移住交流センター」を運営し、移住支援のノウハウ、町内外に広がるネットワークを活かし、ワンストップサービスによる、きめ細やかなサービスを提供した。
- ◇空き家情報データベースの活用した移住者向け住宅情報の提供を行った。（令和2年度(4～10月)実績 移住 6世帯 12人、相談件数 88件、移住希望者登録件数 61件）

・勝浦町

- ◇移住希望者に対して、空き家バンクの利用者登録や「トライアルハウス坂本家」の利用を促した。（移住フェアは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

■ その他

⑩ 情報システムの共同研究（1市6町）

事業名	情報システム共同研究事業				
連携市町村	徳島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内市町村が連携して情報システムに関する課題や問題点などについて情報交換し、対応策について協議するとともに、今後の自治体クラウド導入に対してのメリット・デメリット、各業務におけるその有効性等についての情報交換や研究を行う。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(平成27年度)	2回	目標値(令和2年度)		2回
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
1回		2回	2回	2回	2回
進捗状況	新しい研究内容等について、アンケートの実施等により意見等を集約し、課題を共有することができた。また、自治体DXの推進に必要な、最新技術に係る情報交換を行うことで、メリットや課題を把握する等の効果を見込んでいる。				進捗評価
					B
今後の方向性	引き続き自治体DXの推進に必要な、最新技術に係る情報交換を行っていきたい。				
<p><b>【令和2年度の取組実績（見込）】</b></p> <p>○新しい研究内容等に関して各市町村と情報交換等を行い、今後の共同研究の課題について情報共有を行った。</p> <p>○自治体デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進に向けた、具体的な取組状況について、各市町村と情報交換を行った。</p>					

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### ■ 宣言中心市等における人材の育成

##### ⑰ 圏域内市町村職員の人材育成（全市町村）

<b>事業名</b>	圏域内市町村職員人材育成事業				
<b>連携市町村</b>	全市町村				
<b>取組内容</b>	圏域自治体職員の意識改革と資質の向上を図るため、圏域内市町村が連携して合同研修会を開催する。				
<b>成果指標</b>	研修会開催回数（年間）				
	当初値(平成27年度)	2回	目標値(令和2年度)	2回	
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
	3回	3回	2回	2回	0回
<b>進捗状況</b>	今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大対策のため、圏域内と連携した合同研修会を実施することができなかった。				進捗評価
					C
<b>今後の方向性</b>	多様な行政課題を効果的・効率的に処理できる職員力の強化に向け、随時、研修の内容等を検証し、計画的な人材育成に取り組む。				
<p><b>【令和2年度の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「防災対策講演会」実施（10月26日実施、徳島市役所13階大会議室） 新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため徳島市職員のみで行った。</li> <li>○「行動変革講座」は新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため中止。</li> </ul>					

■ 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

⑩ 外部からの人材の確保（全市町村）

<b>事業名</b>	外部人材共同招へい事業					
<b>連携市町村</b>	全市町村					
<b>取組内容</b>	専門的な知識や経験、実績、新しい発想などに優れた外部の人材を共同招へいして活用することにより、地域資源の発掘、新たな産業振興や人材育成など、各連携分野で専門的見地から助言や支援を求め、圏域の活性化を図る。					
<b>成果指標</b>	外部人材活用件数（H28～R2 累計）					
	当初値(平成27年度)	—		目標値(令和2年度)	2件	
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1（見込）	R2
		0件	0件	0件	0件	0件
<b>進捗状況</b>	連携市町村において外部人材の活用を検討したが、招へいにまでは至らなかった。				進捗評価	
					C	
<b>今後の方向性</b>	他の圏域における先進事例を調査・研究し、新たな活用の検討を図る。					
<p><b>【令和2年度の取組実績】</b></p> <p>○連携市町村において圏域の活性化を図るため、外部人材の活用の検討を行った。 （招へいにまでは至らず。）</p>						

■ その他

⑱ 圏域内市町村の行政運営機能の強化（全市町村）

<b>事業名</b>	行政運営に関する研究会開催事業					
<b>連携市町村</b>	全市町村					
<b>取組内容</b>	連携市町村で「行政運営に関する研究会」を開催し、自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高いテーマを研究することにより、自治体運営機能の強化及び圏域自治体間の連携強化を図る。					
<b>成果指標</b>	研究会開催回数（年間）					
	当初値(平成27年度)		2回	目標値(令和2年度)		
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
		2回	2回	2回	1回	1回
	研究会参加自治体数（1回当たり）					
	当初値(平成27年度)		11市町村	目標値(令和2年度)		
実績(年度)	H28	H29	H30	R1	R2(見込)	
	10市町村	10市町村	10市町村	12市町村	12市町村	
<b>進捗状況</b>	研究会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、日程の都合及び密となる会議等の開催を見合わせたことから、今年度の開催回数は1回となる見込み。				進捗評価 B	
<b>今後の方向性</b>	引き続き、人材育成及び地方自治体をマネジメントしていく上で、共通課題として重要度の高いテーマを選定し、講師を招いた研究会等、圏域自治体及び担当課と連携して3回程度研究会を開催する。					
<p><b>【令和2年度の取組実績（見込）】</b></p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により対面での会議を取りやめ、会議のテーマについて電話やメール等でやりとりし、質問や質問等の回答をとりまとめて、各市町村で共有することした。</p>						

⑳ 地域づくり活動の育成・支援（全市町村）

事業名	地域づくり活動団体等育成・支援事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	徳島市市民活力開発センターが圏域全体で助言・相談等を行い、地域の人と地域づくり活動に関わった人との交流を促進する。また、各地域での協働事業の創出を支援するとともに、意欲的な市町村に対し重点的な支援を行う。				
成果指標	地域づくり活動の参加者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	487人	目標値(令和2年度)		1,000人
	実績(年度)	H28	H29	H30	R1
	919人	486人	411人	721人	65人
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により例年のような支援事業はできなかったが、現在の状況下で必要な支援を検討して実施している。				進捗評価
					C
今後の方向性	今後も講座や相談支援などは続けていく。				

【令和2年度の実績（見込）】

○徳島市市民活力開発センターの取組

- ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、電話でのヒアリングとなったが、支援ニーズを把握することができた。
- ・新型コロナウイルスの影響により今までどおりの活動ができない団体が増えており、今後の活動のための重要な支援策としてZoom講座を実施した。
- ・広報誌は、圏域市町村の活動団体の活動内容を詳しく取り上げ、広く情報発信することができた。
- ・相談対応により地域づくり活動が円滑に行えるように支援した。

○ 圏域住民への普及啓発等（全市町村）

事業名	定住自立圏構想PR事業
連携市町村	全市町村
取組内容	徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの推進にあたり、圏域市町村の住民等に対して、連携事業の取組状況や成果について計画的な広報活動を行う。 （形成協定に規定していないが、包括財政措置の対象経費として認められる取組である。）
<p><b>【令和2年度の取組実績】</b></p> <p>○定住自立圏構想推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村のホームページを通じ、取組状況などを周知した。</li> <li>・徳島東部地域定住自立圏PR動画を圏域市町村のホームページで配信している。</li> </ul>	